

授業科目 日常生活活動学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
貝淵正人		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】					
日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】					
1. 基本動作の特徴を分析することができる。					
2. ADL評価を的確にできる。					
3. 代表的疾患に特有なADLプログラムを施行することができる。					
4. 福祉用具を適切に選択し、実践することができる。					
5. 自助具の適応、使用法、工夫点について説明することができる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	起居動作の分析			1	実習 貝淵
2	ADL動作分析 1			1	実習 貝淵
3	ADL動作分析 2			1	実習 貝淵
4	ADL評価			2	実習 貝淵
5	片麻痺のADL 1			3	実習 貝淵
6	片麻痺のADL 2			3	実習 貝淵
7	脊髄損傷のADL 1			3	実習 濱口
8	脊髄損傷のADL 2			3	実習 濱口
9	RAのADL			3	実習 大山
10	その他の疾患のADL			3	実習 貝淵
11	福祉用具 1			4	実習 貝淵
12	福祉用具 2			4	実習 貝淵
13	自助具 1			5	実習 貝淵
14	自助具 2			5	実習 貝淵
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 （必ず購入する書籍）		ADL ―作業療法の戦略・戦術・技術―	生田宗博	三輪書店	2005年 4725円
		日常生活活動（動作）	土屋弘吉、他	日本医薬薬出版	2002年 6650円
参考書		ADLとその周辺	伊藤利之、鎌倉距子	医学書院	1999年 5900円
その他の資料		プリント			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席、実技試験、期末試験			動きやすい服装で参加すること。		